

尾高忠明 指揮 Tadaaki OTAKA

大阪フィルハーモニー交響楽団
OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA

「悲愴」

偉才の最後の交響曲

Program

芥川也寸志：交響管弦楽のための音楽
Yasushi Akutagawa: Musica per Orchestra Sinfonica

モーツァルト：交響曲 第41番「ジュピター」
W.A.Mozart: Symphony No.41 in C major, K.551, "Jupiter"

チャイコフスキー：交響曲 第6番「悲愴」
P.I.Tchaikovsky: Symphony No.6 in B minor, op.74, "Pathétique"

© 飯島 隆



2026 10/25 (日) 3:00PM 開演 (2:15PM 開場) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
A 6,000円 B 4,500円 C 3,000円 D 2,000円 (全席指定 / 消費税込) 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ / JR西宮駅より徒歩15分 (阪急バス7分)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

一般発売
4/19(日)

チケット
予約

●芸術文化センター 0798-68-0255 <https://www.gcenter-hyogo.jp>
●チケットぴあ <https://pia.jp/t/> ●ローソンチケット <https://l-tike.com>

芸術文化センター会員先行予約受付開始 4/17(金)

●イープラス <https://eplus.jp>



兵庫県立
芸術文化センター

関西から

文化力
POWER OF
CULTURE

大阪フィル・チケットセンター 発売日 4/20(月)

大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

直接購入

芸術文化センター2階総合カウンター [4/21(火)より、残席がある場合のみ]

※未就学児童はご入場いただけません。※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。取扱いについては、各プレイガイドにお問い合わせください。※やむを得ない事情により出演者、曲目が変更となる場合があります。予めご了承ください。
主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター、公益社団法人大阪フィルハーモニー協会

尾高&大阪フィルが再び挑む
チャイコフスキー《悲愴》
絆がつむぐ無二の音楽が、ここに

日本を代表する巨匠、尾高忠明が大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督に就任して、早や8年。いまや尾高忠明&大阪フィルは、日本が誇る名コンビと称されている。芸術文化センターでは2022年の初登場以来、情熱ほとばしる圧倒的なサウンドで聴衆を魅了してきた。昨年11月オール・シベリウス公演での、まるで音楽の歓びを分かちようとして客席を巻き込んだ感動的な演奏は、深い信頼関係でつながる名コンビならではの演出であった。

今回、チャイコフスキー交響曲第6番「悲愴」に、尾高と大阪フィルが久しぶりに取り組む。ロシアが生んだ大作曲家の生涯最後の作品。尾高にとっては、何度も演奏を重ね寄り添ってきた思い入れの強い交響曲である。

そして前半には、チャイコフスキーが敬愛し続けたモーツァルトの最後の交響曲にして最高傑作、第41番「ジュピター」。ロシア(旧ソビエト連邦)音楽に憧れ、日本とロシアの音楽の架け橋的存在となった芥川也寸志の「交響管弦楽のための音楽」。大作曲家同士の結びつきが背景に感じられる、痺れる組み合わせ。

尾高が“家族の一員”というほどの絆で結ばれた大阪フィルとの渾身のプログラムにご期待ください。



Tadaaki OTAKA

OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA

尾高忠明(指揮) Tadaaki OTAKA, conductor

1947年生まれ。国内主要オーケストラへの定期的な客演に加え、ロンドン交響楽団、ベルリン放送交響楽団等、世界各地のオーケストラへ客演。これまで1991年度サントリー音楽賞受賞。1993年ウェールズ音楽演劇大学より名誉会員の称号、ウェールズ大学より名誉博士号、1997年英国エリザベス女王より大英勲章CBEを、さらに1999年には英国エルガー協会より日本人初のエルガー・メダルを授与されている。その他、2012年有馬賞(NHK交響楽団)、2014年北海道文化賞、2018年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞、日本放送協会放送文化賞、2019年JXTG音楽賞洋楽部門本賞を受賞。2021年旭日小綬章を受章、同年12月大阪市民表彰を受賞。現在、大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督の他、NHK交響楽団正指揮者、札幌交響楽団名誉音楽監督、東京フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団名誉客演指揮者、紀尾井ホール室内管弦楽団桂冠名誉指揮者。BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団にて1987~95年まで音楽監督をつとめたのち、2025年まで桂冠指揮者を務めた。また2010年~14年まで新国立劇場オペラ芸術監督を務めた。2021年に「東京国際指揮者コンクール」の審査委員長に就任。

大阪フィルハーモニー交響楽団 OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。創立から2001年までの55年に亘り朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務めた。大植英次音楽監督時代には「星空コンサート」「大阪クラシック」といった大型プロジェクトで注目を集め、2014~2016シーズンは井上道義を首席指揮者に迎え、「ショスタコーヴィチ/交響曲第4番」「交響曲第7番」「交響曲第11番」の録音で高い評価を得た。2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール(大阪・中之島)を中心に全国各地で演奏活動を展開している。2024年4月より、クラリネット奏者のダニエル・オッテンザマーがアーティスト・イン・レジデンスに就任。2025年4月より、松本宗利音(まつもと しゅうりひと)が指揮者に就任。



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員募集中!

詳しくは、<https://www.gcenter-hyogo.jp>

便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも
ホールまで15分

(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

